

組合まつり in TOKYO

～8月30日の開催に2組合が出展～

●山梨県ワイン酒造協同組合・富士吉田織物協同組合

山梨県ワイン酒造協同組合と富士吉田織物協同組合が、8月30日に東京国際フォーラムにおいて開催された『組合まつりin TOKYO』に出展した。

このイベントは、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、全国各地の中小企業の受注機会や販路開拓、新製品・新サービスの開発促進などの新たな

ビジネスチャンスの拡大を図る「中小企業世界発信プロジェクト2020」と連携して、東京都中小企業団体中央会が全国



まわたスカーフの巻き方を実演

各地の中小企業組合に呼びかけ、初めて開催した。

屋内外の2会場に、東京都をはじめ全国から88組合・団体が出展し、約2,500人の来場者が訪れた。屋内会場は、組合PRや展示・販売、匠の技、地域の特産物、ものづくり技術などの7つのゾーンに分けられ、来場者は足を止め出展者の説明に耳を傾けたり、地域の特産物の試飲や試食を楽しんだ。

また、屋外広場ではキッチンカー事業協同組合が全国の名物を取り揃え、来場者や近くで働いているサラリーマンやOLからの注目も集めた。

本県からも2組合が出展し富士吉田織物協同組合の(有)カシワギは、先染めで細番手の糸を高密度に織った「ふじやま織」によるネクタイ、国産絹100%で軽くて通気性と保湿性を備え柔らかな人気商品「まわたスカーフ」の展示・販売を行った。

山梨県ワイン酒造協同組合からは東農洋酒(株)、



盛況な山梨のワインの試飲ブース

モンデ酒造(株)の2社が出展。甲州や人気ワインの他に手軽な缶ワインや数量限定で山梨県内のみ販売のスパークリングワイン等を揃えた試飲・販売を行い、終始人だかりが絶えなかった。

全国の組合が一同に会するイベントは初めてで、会場内では他の組合と連携しようと名刺交換や情報交換する姿も目立ち、新たなビジネスチャンスの拡大に繋がる機会となった。